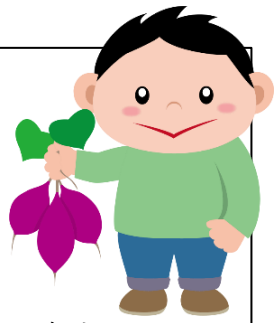
長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ25

今日の一言



４．１０．２０　校長　渕上　卓也

素敵な空間

先日のことです。いつものように朝の立哨指導に行こうと、校門を出て坂道を下っていました。すると、目の前にとても素敵な空間が広がっていたのです。

学校下の横断歩道を一人の滑石っ子が渡っていました。その子が渡り終わるまで、車はしっかり停車してくれていました。素敵な空間が広がったのは、渡り終えた直後です。その子はくるりと振り返ると、止まってくれた車に、お礼の会釈をしたのです。私も遠くから見ておりましたので、誰から言われたわけでもなく、本当に自然に！！

車が止まるのは当たり前だけど、会釈をしてもらって、ドライバーさんは嬉しかったことでしょう。表情までは見えませんでしたが、笑顔だったに違いありません。もっと安全運転をしなければ！！と、決意を新たにしていただいたかもしれませんね。会釈をした滑石っ子にとっても、止まってくれたドライバーさんにとっても、それを遠くから眺めていた渕上にとっても、「横断歩道が本当に素敵な空間」でした。

その滑石っ子とすれ違う時に、渕上はこう声を掛けました。「朝からとても素敵な滑石っ子の姿を見せてもらいましたよ。ドライバーさんにまであいさつしているんだね。あなたの姿を見て、校長先生の『しあわせのバケツ』はいっぱいになりました。ドライバーさんの『しあわせのバケツ』もいっぱいになったと思いますよ。もちろん二人の『しあわせのバケツ』をいっぱいにしたんだから、あなたの『しあわせのバケツ』もいっぱいだね。いっぱいにしてくれて、ありがとう。」

こんな素敵な空間を味わい、『しあわせのバケツ』をいっぱいにしてもらえる！！教師になってよかった！！

ちなみに『しあわせのバケツ』とは、今日の一言Ｎｏ１で紹介した、私の大好きな絵本です。

＜今日の一句＞
何気ない
日常にある
しあわせの蛇口　　卓也